

# 歯周病

歯周病とは、歯ぐきや骨など歯を支える周囲組織の病気をいいます。細菌の塊である歯垢（しこう）が原因となり、歯ぐきの炎症（歯肉炎）を発症しますが、進行すると骨まで炎症が波及し（歯周炎）、歯を失う原因となります。歯周病は、口の中の問題だけでなく、糖尿病、心臓病、肺炎、胃腸疾患や腎臓病などの全身的な病気に関わることがあります。

いつまでも自分の歯で食べ、健康な毎日を過ごすために「歯及び口」をチェックし歯周病を予防しましょう。



## 妊娠と歯周病

妊娠すると歯が悪くなる、歯肉の炎症や腫れるという方がおられますが、それは妊娠によるつわり等で母体の栄養状態が悪くなったり、ホルモンバランスが崩れたり、お腹が大きくなるにつれて体を動かすのがおっくうになったりして口の中の清掃状態が悪くなるのが原因です。

歯科治療は、産後すぐではお母さんの身体に負担がかかりますし、授乳中は治療にも何かと制限もあります。そのため、妊娠中に歯科医療機関でご自分の口腔状態を見てもらい、状態にあった清掃指導を受けましょう。

## 1. 歯周疾患検診

成人の歯を失う最大の原因といわれる歯周病を早期発見、早期治療し、自己管理の技術を身に付ける必要があります。そのため、節目年齢の国民健康保険の被保険者や健康保険加入者の家族などを対象に歯周疾患検診を行っています。

## 2. 妊婦歯科健診

妊娠に伴う生理的な変化により、むし歯や歯周病になりやすいです。妊婦の歯周病は胎児に悪影響を及ぼし、早産や低体重児出産の危険性が増します。また、出産後には、口移しで食べ物を与えること等により母親のむし歯菌が子供に感染（母子感染）します。母親と生まれてくる児の健康のために妊婦歯科健診を行っています。